

平成28年度2学期 生活指導部マネジメント

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成									
重点努力目標	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。									
分掌重点目標	規則正しい生活習慣を定着させる。 ルール・マナー・モラルの向上を図る。									
柱となる活動	2学期への提言	常時活動	9月	10月	11月	12月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do & Check	3学期への提言 Action
みずから学ぶ活動	給食での生徒の実態把握をすすみたい。それを受けて食事の質の向上についての指導やそれに関する学校掲示、たよりの発行を行いたい。 今後とも関心を持っていただけるよう、工夫していきたい。	・給食時の指導、食育掲示の実施 ・献立表、食育だよりによる啓発活動	・熊本応援献立の実施(9月1日) ・とっとり県民の日特別献立の実施(9月12日)	・岩美の日(10月3日)保小中統一献立の実施 ・ワクワクチャレンジ献立の実施 (職場体験で作成した生徒の献立) ・目の愛護週間献立実施 食生活アンケート実施→分析	・いい歯の日献立(11月8日)	・家庭科授業(1年) ・カニの日給食(3年)(12月か1月になるかは不明確)	○「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性を生徒、保護者が理解する。 ○行事・教科と関連した食指導を実施する。 ○地産地消の取り組みを理解する	○給食時間の指導回数 各クラス2回以上 ○食生活アンケート 「朝食を(必ず・たいてい)とる」が95%以上。 ○保護者質問紙 「学年・学級便りや連絡文書をよく読んでいる」肯定意見90%以上。		
	2学期は、学校行事も多く必然的に話し合う場面も増えてくる。同じ目標に向かって話し合いをすることによって、自分だけでなく、相手のことも考えることの大切さを感じさせていきたい。	・生徒たちに育てたい資質・能力(岩美町・教科で設定)を意識した日々の実践の積み重ねを行う	・人権作文発表 ・人権標語	・ふるさと先生とともに(1年) ・高校生に学ぶ(2年)	人権学習 1年「共生の社会をめざして」 2年「元ハンセン病患者の方に学ぶ」 3年「異文化理解」	人権アンケート	○自分の思いを表現し、人の思いを受け止めながら、落ち着いた生活を実践することができる。 ○相手との対等な関係を考えながら会話・行動しようとするができる。	○人権アンケート「立場や考えの違いをこえて、話し合ったり協力し合ったりして、解決に取り組んだか」の項目で、定的意見80%以上		
みずから鍛える活動	服装のルールや休憩時間の過ごし方について集会時に話したり、生活委員会の活動で模範となる服装や過ごし方のモデルを示したりするなどして、意識の差を無くしていきたい。	・校内生活におけるルールおよびマナー指導								
	保健指導を継続して行っている。今後も継続。朝食と睡眠の指導を運動して行いたい。生活振り返り週間で、生徒個人は振り返りができていたが、個別の目標の指導が必要。また、書き方がかかっていない生徒への書き方の指導も必要。保健委員会にも今後も早めに声かけし、指導を強化していく。	・夜の歯みがき週間の実施(3回/年) (予定)6月、11月、2月 ・生活リズムふり振り返り週間の実施(3回/年)	・学校保健委員会	・目の愛護デー ＜メディア時間と目の健康指導＞ ・喫煙防止教室(1・2年)	・薬物乱用防止教室(3年) 第2回 夜の歯みがき週 第2回 生活リズムふり振り返り週	・いのちの出前授業(1年)	○生徒に「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣の定着を図る。 ○給食後の歯みがき、夜の歯みがきの習慣付けをし、さらにていねいにみがきよう意識づける。	○生活振り返りアンケート「朝食をとる」が95%以上 ○睡眠時間7時間以上の生徒が55%以上 ○メディアの利用時間2時間未満の生徒平日70%以上 ○夜の歯みがき3分以上65%以上		
みずから鍛える活動	学校全体での街頭指導を継続して行う。特に、早帰り時の自転車のマナーが悪いので、声掛けや街頭指導などをして、下校指導の徹底を行う。継続したバス待ちのマナー指導。	登下校指導	・秋の交通安全指導	インフルエンザ予防の指導を徹底する ・うがい手洗い指導の徹底・濃厚接触者の健康管理の徹底 ＜生徒保健委員会の手洗い啓発＞ ・教室の空気管理の徹底(加湿空気清浄機の使い方・換気の仕方)	・年末の交通安全指導		○自分から進んで交通のマナーやルールを守ることができる。	○生活振り返りアンケート「交通のルール、マナーを進んで守ることができた。」きちんと守ることができた。80%以上 ○「公共の施設はマナーよく使用できていますか。」きちんと守ることができた。80%以上		
	集会で再度、無言掃除についての指導を行う。また、掃除の指導が入らない生徒に対しては、学年と連携して指導を強化する。委員会でも取り組みを行う予定。	無言掃除を徹底する		「無言掃除」についての確認(全校集会等)	環境緑化活動		○積極的に清掃活動に取り組む生徒が増える。 ○積極的な緑化ボランティアへの参加	◇生活ふりかえりアンケート「時間いっぱい無言掃除に取り組む」の肯定的評価が80%以上		
みんなと生きる活動	引き続き、共通理解のもとに取組を進めていく	スクールカウンセラーとの連携(特に、保護者に対しての助言、方向付け) 定例職員会での生徒の共通理解	定例 職員会 個別の指導、支援の方向性について共通				○対象生徒の実態・課題を共通理解し、その課題等に応じた対応をチームで行うことができる	教職員質問紙「学校不適応対策は委員会を中心に計画的に実施されている」肯定的意見90%以上		
	今後も継続して行っていきたい。2学期に早めの日程調整を行い、研修会を予定していきたい。また、事例研や支援のあり方についての研修会を行っていきたい。	特別支援教育に係る関係諸機関との連携	全校教育相談アンケート実施	・第2回校内就学指導委員会 ・LD等専門員巡回相談	・生徒支援校内研修会		○文脈が必要な生徒の具体的な支援方法がわかり、「個別の支援計画」に基づいて教職員が連携して個別支援を行うことができる	○教職員質問紙「一人ひとりの生徒に対し綿密な特別支援教育が実施されている」肯定的意見85%以上 ○生徒支援校内研修後アンケート、肯定的意見80%以上		